

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年の3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

定時株主総会の基準日 毎年3月31日

剰余金の配当の基準日 期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載 URL
(<http://www.sanken-ele.co.jp/koukoku/index.htm>)

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

詳細につきましては、当社ホームページ (<http://www.sanken-ele.co.jp/>) をご確認ください。

SanKen

サンケン電気株式会社

〒352-8666 埼玉県新座市北野三丁目6番3号
TEL (048) 472-1111

SanKen

Sanken Report

第100期 報告書

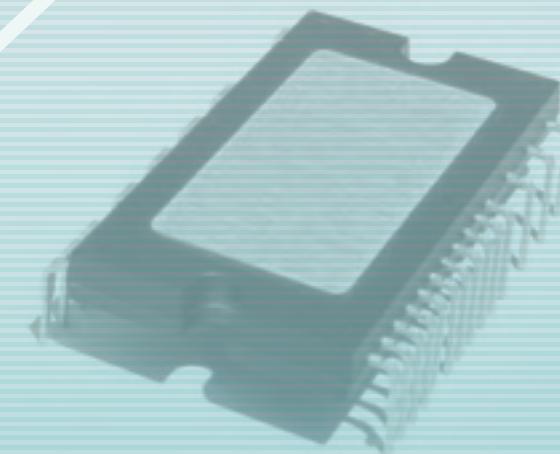
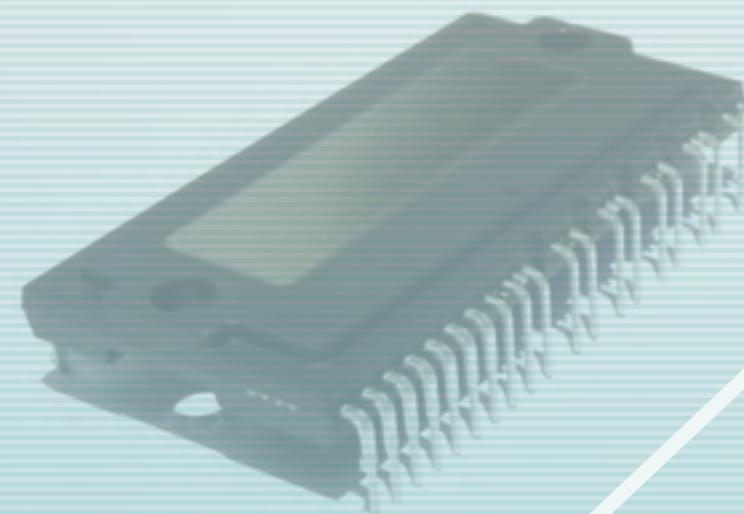
平成28年4月1日～平成29年3月31日

サンケン電気株式会社

証券コード：6707

身近で使われるサンケン電気の半導体

左: SAEシリーズ (自動車用)
右: SCM3シリーズ (白物家電用)
製品の詳しい紹介は本報告書5～6ページの特集をご覧ください。



エコ・省エネ、グリーンエネルギー関連の新製品開発に注力し、売上拡大を図ってまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。
ここに第100期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。



代表取締役社長
和田 節

業績について

当社では「成長市場への注力」及び「財務体質強化」を基本方針に掲げ、エコ・省エネ、グリーンエネルギー関連の戦略市場に焦点を当てた新製品開発に注力し、売上の拡大、収益力向上に努めるとともに、棚卸資産の圧縮に注力し、有利子負債の削減に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、半導体デバイス事業で、海外市場を中心に白物家電向け製品や自動車向け製品の販売が好調に推移したことなどから、連結売上高は1,587億72百万円と、前連結会計年度と比べ28億52百万円(1.8%)増加いたしました。損益面につきましては、円高で推移した為替相場の影響を受け、連結営業利益は59億30百万円と、前連結会計年度比8億73百万円(12.8%)減少いたしました。しかしながら、前期に比べ営業外損益が改善し特別損失が減少したことなどから、連結経常利益は50億26百万円と、前連結会計年度比12億34百万円(32.6%)増加し、親会社株主に帰属する当期純利益は17億39百万円と、前連結会計年度比15億67百万円(914.0%)の増加となりました。

配当について

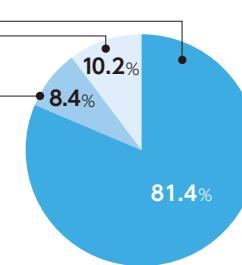
当社では、かねてより、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要施策の一つと位置付け、将来に向けての事業展開と財務体質改善を進め、経営全般の基盤強化を図る上で必要となる内部留保を確保しつつ、収益力の向上を通じて、安定的かつ着実な配当を実施することを基本的な考え方としております。

当期業績においては、前期に比べ営業外損益が改善し特別損失も減少したことなどから、配当原資となる本社個別の純資産が増加いたしました。かかる前提の改善を踏まえ、今後の経営環境に関する見通し等を勘案し、更には従来同様に内部留保の確保に意を用いた上で、復配が可能と判断いたしました。

その結果、当期の期末配当につきましては、普通配当を1株3.00円とし、また当社は昨年9月に創立70周年を迎えましたことから、普通配当に70周年記念配当として0.50円を加え、合わせて1株につき3.50円として、復配することといたしました。

■事業別売上高構成比

半導体デバイス事業	129,322百万円
PM事業	16,153百万円
PS事業	13,296百万円
連結売上高合計	158,772百万円



次期に向けて

次期につきましては、海外経済の先行きに不確実性があるものの、当社製品が関連する市場では、白物家電や自動車関連向けの製品における需要の底堅い推移が期待されま。こうした状況下、当社では、「2015年中期経営計画」に則り、業績向上と財務体質の強化に向け、全社一丸となって取り組んでまいります。2017年度の連結業績につきましては、売上高1,590億円、営業利益73億円、経常利益60億円、親会社株主に帰属する当期純利益25億円を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りたくお願い申し上げます。

平成29年6月

半導体デバイス事業

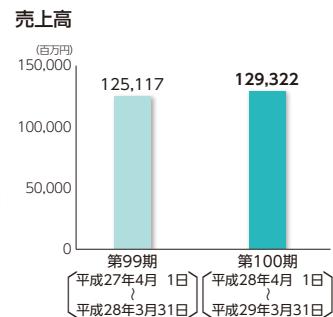
パワーIC、コントロールIC、ホールIC、バイポーラトランジスタ、MOSFET、IGBT、サイリスタ、整流ダイオード、発光ダイオード(LED)

売上高 **129,322**百万円(前期比3.4%増加)

- ・AVやプリンターを中心としたオフィス機器向け製品の売上が減少。
- ・エアコンや洗濯機などの白物家電向け製品や自動車向け製品の販売が好調。



高圧3相モータドライバIC SIM6800Mシリーズ



PM(パワーモジュール)事業

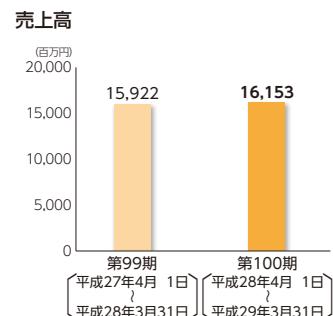
スイッチング電源、トランス

売上高 **16,153**百万円(前期比1.5%増加)

- ・自動車向け製品の販売が拡大。



ロボット制御用電源



PS(パワーシステム)事業

無停電電源装置(UPS)、インバータ、直流電源装置、高光度航空障害灯システム、各種電源装置・機器

売上高 **13,296**百万円(前期比10.6%減少)

- ・通信市場向け製品の販売が減少。
- ・新エネルギー市場向け製品の販売が低迷。



屋外用小型電源装置SRFシリーズ



売上高



営業利益 ● 売上高営業利益率



経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益



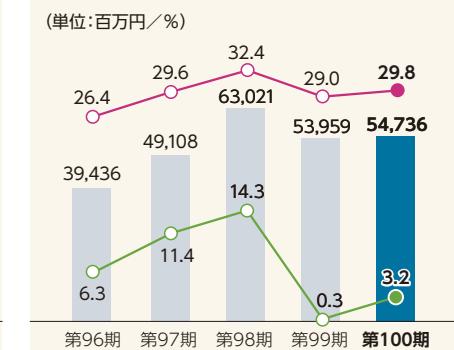
1株当たり当期純利益



総資産 ● 総資産経常利益率(ROA)



純資産 ● 自己資本比率 ● 自己資本当期純利益率(ROE)



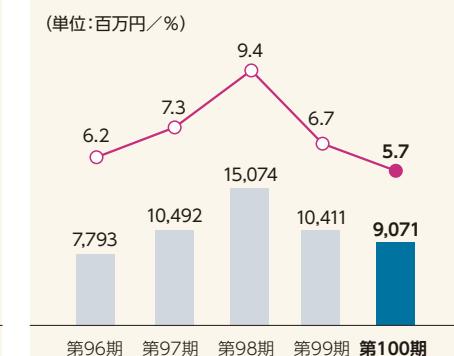
棚卸資産



有利子負債



設備投資額 ● 設備投資額売上高比率



サンケン電気の半導体はこんなところで使われます

大容量・高機能化が進む白物家電に使われるモータ駆動用IC

冷蔵庫
SIM6800Mシリーズ

製氷機・庫内ファン

室内機ファン

室外機ファン

室外機コンプレッサ

洗濯機
SCM3シリーズ
SIM6800Mシリーズ

乾燥用ファン

室内機ファン

室外機コンプレッサ

食洗機
SIM6800Mシリーズ

ポンプ

SCM3シリーズ (表紙右側の製品)

量産中のSCM1200MFを小型化した「SCM3シリーズ」を製品化しました。IPM内部にサーミスタを内蔵することで、より正確にパッケージ温度を測定することが可能となり、出力性能を最大限に発揮しながら、安全にモータの回転制御を行うことができます。すでに洗濯機のドラム駆動向けに量産が始まっているほか、エアコンのコンプレッサ駆動等、白物家電を中心に適用可能な製品です。

ルームエアコン
SCM3シリーズ
SIM6800Mシリーズ
SX1Aシリーズ

室内機ファン

室外機ファン

室外機コンプレッサ

SX1Aシリーズ

製造性の改善や自動実装化要求に応えるSOP (表面実装) パッケージの新製品「SX1Aシリーズ」を開発しました。過熱時に働く保護動作温度を抵抗器1個で調整でき、仕様に合わせて設計が容易になります。ルームエアコン向け室内機・室外機のファンモータ駆動に最適です。今後はスーパージャンクションMOSFETを搭載することで更なる低オン抵抗化を図り、省エネ、高効率に貢献できる製品です。

SIM6800Mシリーズ

小型化、低背化の市場ニーズに応えるため「SIM6800Mシリーズ」を開発しました。2段階の過電流保護など、充実した保護機能を搭載した製品です。ルームエアコンのファンモータ駆動や冷蔵庫のコンプレッサ駆動等、白物家電を中心に採用されています。今後はスーパージャンクションMOSFETを搭載することで更なる低オン抵抗化を図り、省エネ、高効率に貢献できる製品です。

自動車のさまざまな制御に使われる半導体デバイス

オルタネータ

- レギュレータ
- 整流ダイオード

インジェクタ (燃料噴射装置)

- トランジスタアレイ
- バイポーラトランジスタ

点火システム

- イグナイタ
- 高圧ダイオード

電子制御スロットル

- DCモータドライバ
- ステッピングモータドライバ

SAEシリーズ (表紙左側の製品)

ハイブリッド車 (HV) や電気自動車 (EV) の普及に伴い、電動モータの使用個数が増え、それを駆動するモータドライバICへの需要が高まっています。サンケン電気では、最大50Aの電流に対応した高耐圧HVモータ用IC「SAEシリーズ」を開発し、量産ラインの整備を進めています。SAEシリーズは、車載エアコン用電動コンプレッサのモータ駆動用途に最適で、ブリッドドライバIC、パワーIC、ブートストラップダイオードを1パッケージに搭載することでモータ使用箇所の設計簡素化にも貢献できるICです。

パワーステアリング

- 電流センサー
- ハーフブリッドドライバ
- 3相モータドライバ
- モータ駆動用MOSFET

メーターパネル

- LED

インテリア

- 車室内照明LED

バックルセンサー

- 位置、電流センサー

パワーウィンドウ

- DCモータドライバ

トランスミッション

- リニアソレノイドドライバ
- スピードセンサー

ヘッドライト

- HID高圧ドライバ
- LEDドライバ
- トランジスタアレイ
- マトリックスドライバ

ABS (横滑り防止装置)

- 電流センサー
- リニアセンサー
- トルクセンサー

サスペンション調節

- 位置、電流センサー

その他

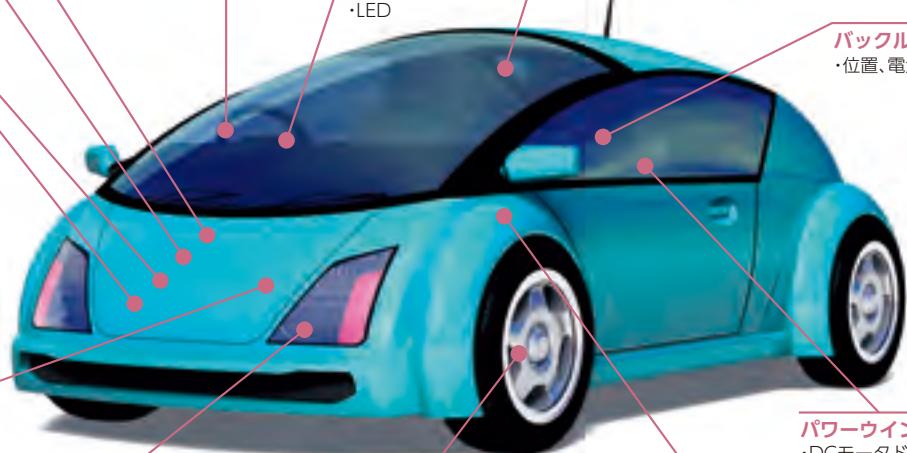
- 2次側電源IC
- パワースイッチIC

ハイブリッド車/電気自動車/プラグインハイブリッド車

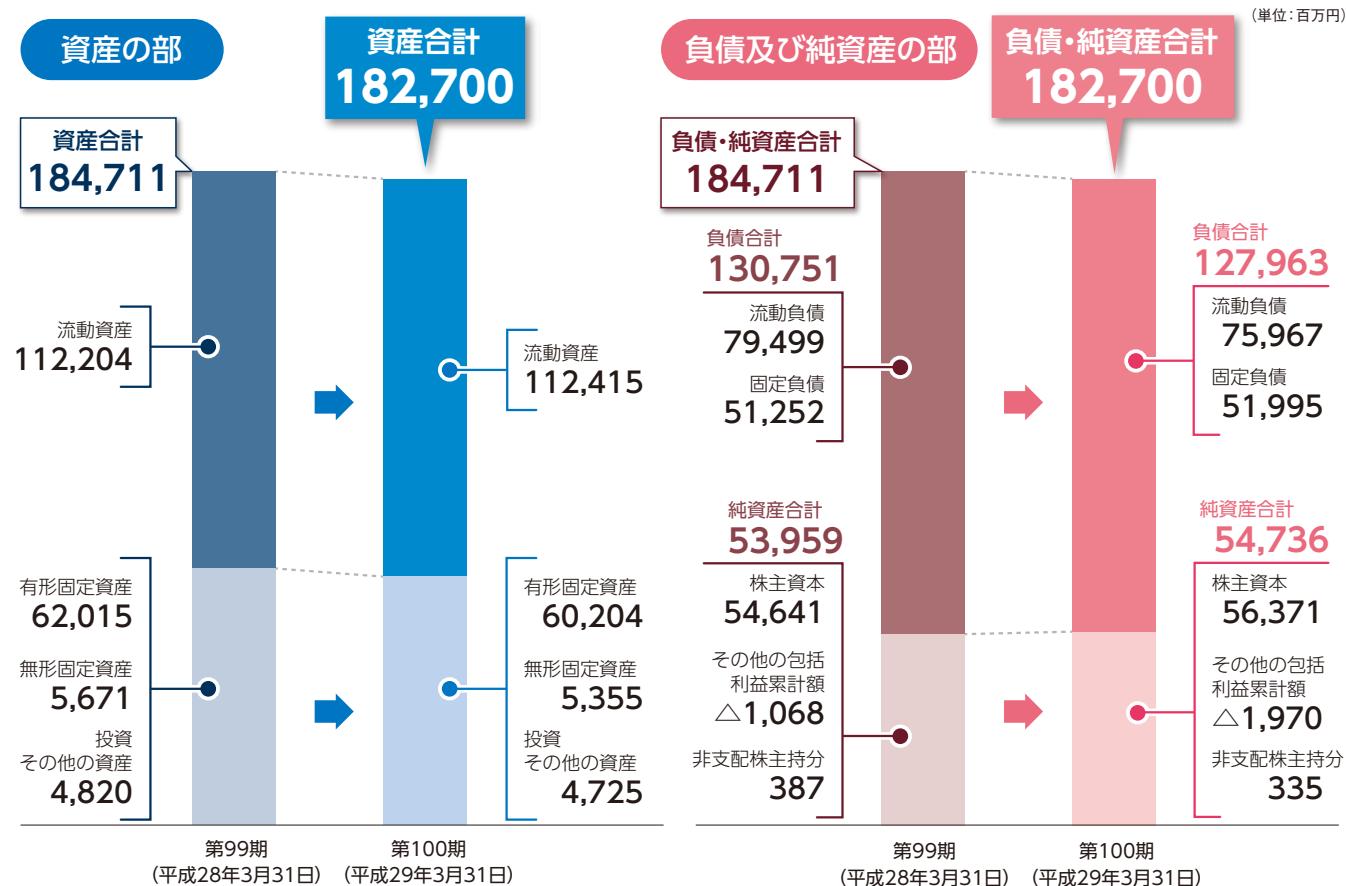
- 補助電源用IC
- 補機モータドライバ
- AC/DC、DC/DCコンバータ (パワーモジュール)

AR3001

自動車の電子制御化が進む中で、ドアミラーやエアコン、照明など主に車の快適性を高める各種電子部品で相互の連携が重要になってきており、LIN (Local Interconnect Network) 通信機能を備えたICへの需要が増えてきています。サンケン電気では、従来製品で提供してきたオルタネータで発電した電気の電圧を制御する機能に加えて、LIN通信機能を内蔵したIC「AR3001」を開発し、量産準備を進めています。



連結貸借対照表の概要



POINT 総資産は20億11百万円減少。自己資本比率は29.8%に増加

資産	変動
流動資産	2億10百万円増加
固定資産	22億22百万円減少

現金及び預金が46億24百万円増加し、原材料及び貯蔵品が9億20百万円、その他が25億55百万円減少したことなどによるものです。

有形固定資産が18億11百万円、無形固定資産が3億16百万円減少したことなどによるものです。

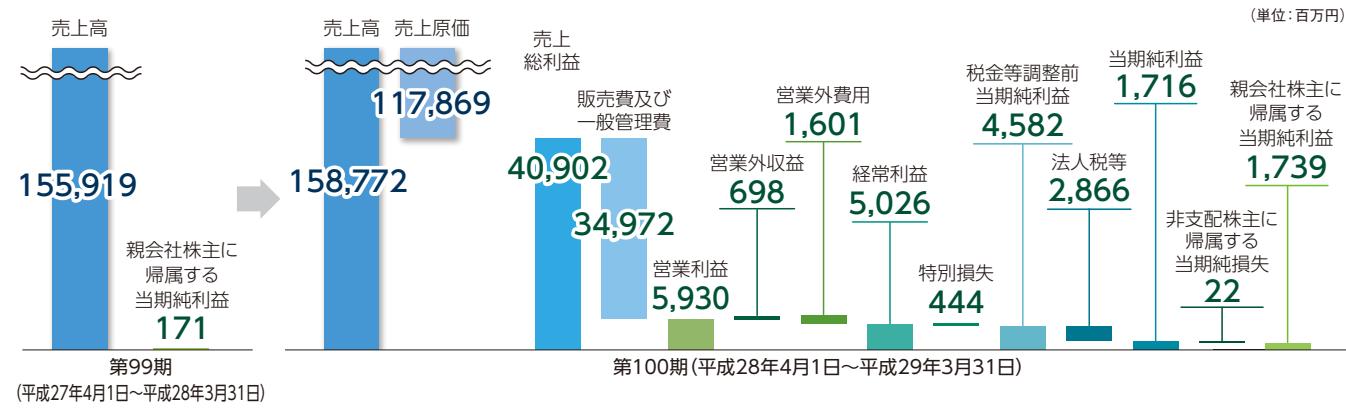
負債	変動
負債	27億88百万円減少

コマーシャル・ペーパーが110億円増加した一方で、1年内償還予定の社債が減少し、社債が増加した結果、ネットで159億円減少したことなどによるものです。

純資産	変動
純資産	7億76百万円増加

利益剰余金が17億39百万円増加し、為替換算調整勘定が9億34百万円減少したことなどによるものです。

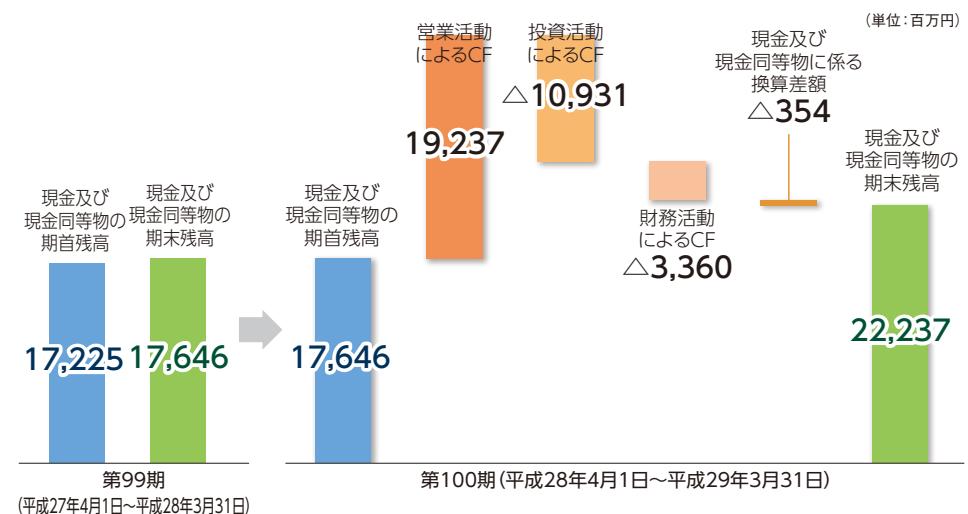
連結損益計算書の概要



POINT 売上高
半導体デバイス製品とPM製品の売上がPS事業における製品の販売低迷をカバーし、前連結会計年度比28億52百万円(1.8%)増加となりました。

POINT 親会社株主に帰属する当期純利益
円高で推移した為替相場の影響を受けましたが、営業外損益が改善し特別損失が減少したことから前連結会計年度比15億67百万円(914.0%)増加となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要



詳しい財務データは、当社ホームページの「IR情報」をご覧ください。

88期(平成17年3月期)からの決算短信、決算説明会、報告書、有価証券報告書・内部統制報告書、Annual Reportがご覧いただけます。

<http://www.sanken-ele.co.jp/>

会社の概要

商号	サンケン電気株式会社 (Sanken Electric Co., Ltd.)
本社	埼玉県新座市北野三丁目6番3号
設立年月日	昭和21年9月5日
資本金	20,896,789,680円
グループ従業員数	9,770名
主要取扱商品	〈半導体デバイス〉パワーIC、コントロールIC、ホールIC、バイポーラトランジスタ、MOSFET、IGBT、サイリスタ、整流ダイオード、発光ダイオード(LED)〈PM〉スイッチング電源、トランス 〈PS〉無停電電源装置(UPS)、インバータ、直流電源装置、高光度航空障害灯システム、各種電源装置・機器

事業所

川越工場	埼玉県川越市下赤坂大野原677番地 TEL(049)266-8111
東京事務所	東京都豊島区西池袋一丁目11番1号 メトロポリタンプラザビル TEL(03)3986-6151
大阪支店	大阪府大阪市北区梅田三丁目3番20号 明治安田生命大阪梅田ビル TEL(06)6450-4400
営業所	札幌／仙台／名古屋／金沢／広島／九州

主なグループ企業

石川サンケン株式会社／山形サンケン株式会社
鹿島サンケン株式会社／福島サンケン株式会社
サンケンオプトプロダクツ株式会社
大連三壘電気有限公司
サンケン ノースアメリカ インク
アレグロ マイクロシステムズ エルエルシー
ポーラー セミコンダクター エルエルシー
ピーティー サンケン インドネシア
韓国サンケン株式会社
三壘力達電気(江陰)有限公司

役員 (平成29年6月23日現在)

取締役及び監査役

代表取締役社長	和田 節
取締役	星野 雅夫
取締役	鈴木 善博
取締役	鈴木 和則
取締役	曹路地 剛
取締役	高荷 英雄
社外取締役(非常勤)	リチャード R. ルーリー
社外取締役(非常勤)	藤田 則春
常任監査役	太田 明
監査役	鈴木 昇
社外監査役(非常勤)	和田 幹彦
社外監査役(非常勤)	南 敦

執行役員

専務執行役員	星野 雅夫 (技術本部長兼開発統括部長)
常務執行役員	鈴木 善博 (海外事業戦略室長)
常務執行役員	鈴木 和則 (営業本部長)
上級執行役員	曹路地 剛 (生産本部長)
上級執行役員	高荷 英雄 (管理本部長)
執行役員	谷山之康 (生産本部LED統括部長)
執行役員	村上 清 (管理本部副本部長兼総務人事統括部長)
執行役員	伊藤 茂 (パワーシステム本部長)
執行役員	折戸 清規 (営業本部副本部長兼名古屋営業統括部長)
執行役員	中道 秀機 (技術本部副本部長兼デバイスマーケティング統括部長 (ビジネスデベロップメント担当))

執行役員	金澤 正喜 (技術本部デバイス商品戦略室長)
執行役員	岩田 誠 (生産本部デバイス生産統括部長)
執行役員	李明濤 (技術本部副本部長)
執行役員	村野 泰史 (管理本部財務IR統括部長)
執行役員	坂内 哲男 (生産本部ものづくり技術統括部長)
執行役員	安斎 澄男 (パワーシステム本部/パワーマーケティング統括部長)
執行役員	吉田 智 (営業本部東日本営業統括部長)

株式の状況

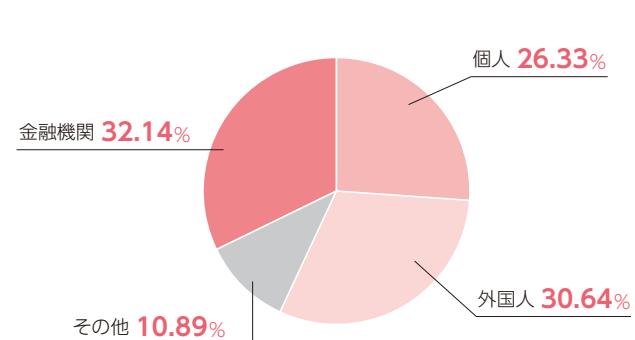
発行可能株式総数	257,000,000株
発行済株式の総数	125,490,302株
株主数	12,196名
単元株式数	1,000株

大株主

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,316 千株	6.86%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,469 千株	6.16%
株式会社埼玉りそな銀行	6,011 千株	4.96%
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS-UNITED KINGDOM	3,105 千株	2.56%
エバーグリーン	2,693 千株	2.22%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,148 千株	1.77%
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー 505325	1,730 千株	1.42%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	1,558 千株	1.28%
株式会社八十二銀行	1,556 千株	1.28%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	1,528 千株	1.26%

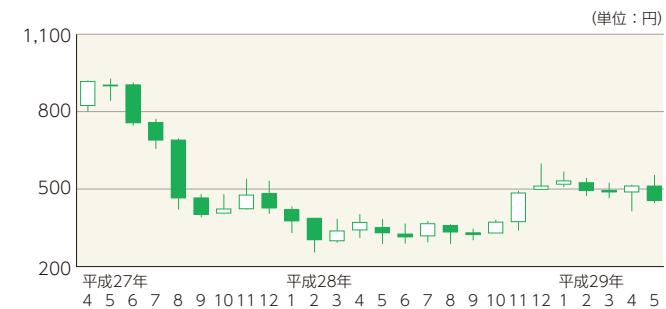
(注) 1. 当社は自己株式を4,293,460株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

所有者別分布状況

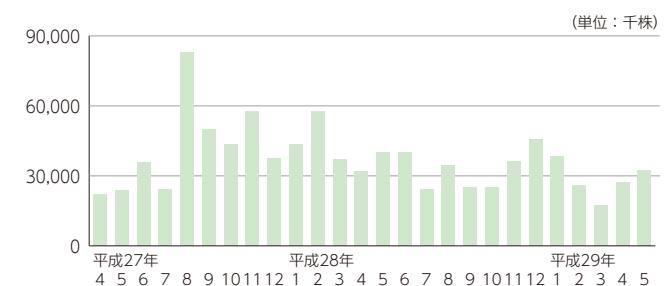


株価の推移

株価(月足)



月間出来高



所有株式数別分布状況

